NEW

FSY-189
IoT/M2Mソーラー式無線監視システム

●河川水位･雨量等伝送可能　●FOMA,GSM、920MHz帯に対応

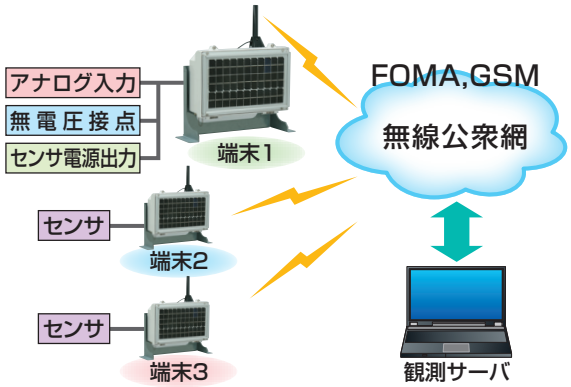
【DCT-138】
ソーラー式無線監視端末

特長

- ●IoT/M2Mソーラー式無線監視システムは、ソーラー式無線監視端末(DCT-138)を用いた燃料残量･河川水位･雨量･温度･湿度の伝送機能を標準搭載しています。
- ●FOMA(※1)と920MHz帯の採用により、お客様ニーズに合わせた通信ネットワークを構築出来ます。
- ●ソーラー電池により電源工事不要、蓄電池はリチウムイオンバッテリによる電池長寿命化が可能です。
- ●920MHz帯LPWA(※2)による長距離通信を実現、広範囲のデータ収集を通信コストなしで運用出来ます。
- ●計測データに適したサーバーアプリケーションをご提供します。

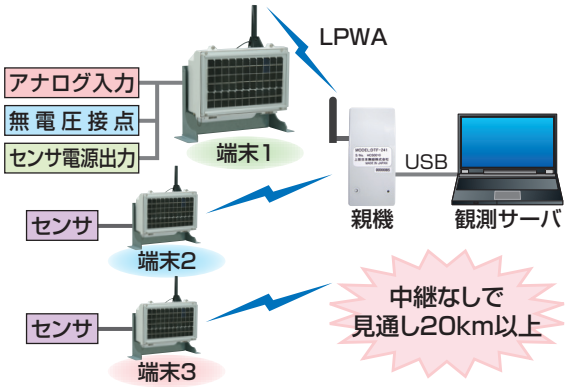
通信形態

無線公衆網(FOMA,GSM)タイプ



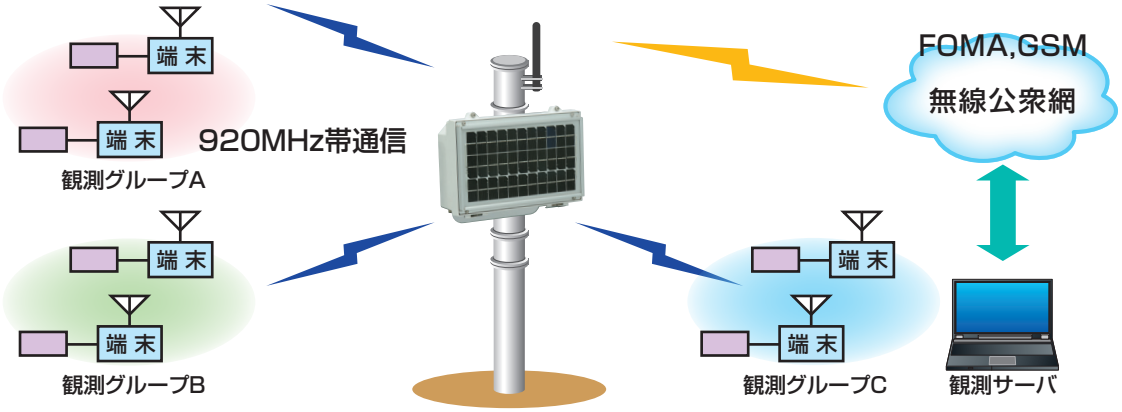
・遠隔観測拠点を無線公衆網でネットワーク化
(※現在GSM対応中)

920MHz帯無線タイプ



・見通し約20Km以上の範囲を通信コストゼロで無線ネットワーク化、中継機能で更に長距離化

複合タイプ



・ソーラー端末をFOMA, GSMのゲートウェイとし、近隣の端末を920MHz帯で繋いでハイブリット化
・ゲートウェイでグループ毎に観測データを蓄積し、上位サーバへ一括送信が可能

※1「FOMA」はNTTドコモの登録商標です
※2「LPWA(LowPowerWideArea)」は低消費電力で長距離通信を可能とする通信方式です

UJRC FSY-189 IoT/M2Mソーラー式無線監視システム

仕様

(1)観測データ収集仕様

収集方式	収集データ	機能可否			収集データ入力周期
		無線公衆網	920MHz帯	複　合	
ポーリング（サーバー主導）	燃料残量	○	×	×	ポーリング時
	河川水位	○	○	×	
	雨量	○	○	×	
	温湿度	○	○	○	
	水田水位･水温	×	○	○	
アラーム（端末主導）	燃料残量	○	×	×	10分
	河川水位	○	○	×	1分、10分、60分
	雨量	○	○	×	
	温湿度	○	○	○	
	水田水位･水温	×	○	○	
定時通報（端末主導）	燃料残量	○	×	×	60分

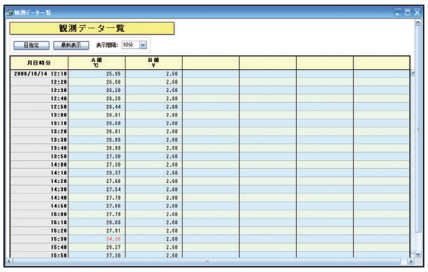
※アラームの通知は閾値を超えた時（上下限方向設定あり）　　○：可　×：不可
※定時通報の通知は指定時刻（最大24設定可能、分は固定）
※閾値で分割される各レベルは、それぞれについて収集データ入力周期を設定可能

(2)ソーラー式無線監視端末（DCT-138）

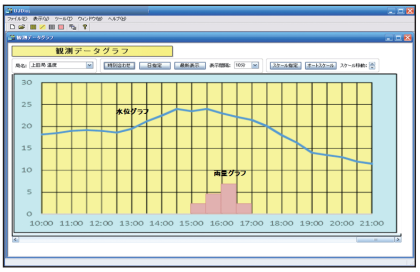
通信IF	FOMA／GSM／920MHz
無日照保証	10日間以上（計測間隔、通報間隔に条件あり）
センサーIF	アナログ入力　4-20mA（最大12bit）入力4点 警報出力閾値 4値（上下限方向設定あり） デジタル入力　無電圧接点入力 4点　最小検出時間　100ms パルス入力　最小検出時間 100ms　パルス積算カウント（0～9999）
センサー電源出力	DC24V／Max50mA（各アナログ入力につき）
二次電池	鉛蓄電池（DC12V/2.0Ahx2）、オプション リチウムイオン電池（13.2V／5Ah）
筐体構造	アルミダイカスト製、IPx5
使用温度・湿度	−20～ +60℃、20～85%RH（ただし、結露しないこと）
外形寸法・質量	W340 × H220 × D118㎜（突起物は含まず）、約7kg

(3)サーバーソフト UJDisp

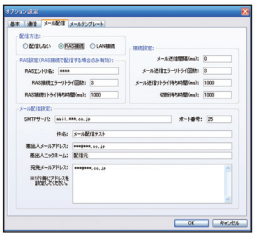
- ●観測データをグラフ表示または一覧表として表示
- ●アラーム設定により、指定アドレス（複数）宛てにEメール送信が可能



【観測データ一覧表示画面】



【観測データグラフ表示画面】



【Eメール設定画面】

⚠ 注 意　●ご使用の際は「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

●お問い合わせ

JRC 上田日本無線株式會社
URL http://www.ujrc.co.jp

本　　社　〒386-8608 長野県上田市踏入2-10-19
TEL0268-26-2112
東京営業所　〒167-0051 東京都杉並区荻窪5-26-13 Daiwa荻窪ビル5F
TEL03-5397-6511　FAX03-5397-6513

※仕様は予告なく変更することがあります。予めご了承ください。